

海洋資源の持続的利用と先端技術

第1部：2011年2月28日(月) 第2部：2011年3月1日(火)



Dept. of Oceanic Architecture & Engineering
College of Science & Technology
Nihon University

■ 2011年3月1日(火)

「欧州海洋エネルギーセンター (EMEC) での実海域試験」
Prof. Ian G Bryden
「海洋エネルギー養殖と生産支援のための複合洋上プラットフォーム」
Prof. Atilla Incecik

■ 2011年2月28日(月)

「水産資源の低下と再生」
Prof. Juan Carlos Castilla



■ 2011年2月28日(月)

「太平洋の現状」
Prof. Joeli Veitayaki

スケジュール

参加費 無料

第1部：2011年2月28日(月)

時間：10:00～17:45 場所：駿河台校舎 CST ホール

- 気候変動と島嶼国への影響
 - ① 趣旨説明と日次の取組み 小林昭男 (日本大学)
 - ② 太平洋の現状 Prof. Joeli Veitayaki (Univ. of South Pacific)
 - ③ 小島国連の気候変動適応と開発パートナーの役割 三村悟 (JICA)
- 大深度探査技術と海底資源
 - ① 趣旨説明 居駒知樹 (日本大学)
 - ② 第3のフロンティア・海底下への挑戦 - NanTroSEIZE 長期孔内観測システムの開発 - 許正憲 (JAMSTEC)
 - ③ 第3のフロンティア・海底下への挑戦 - 「ちぎゅう」のレーザー掘削技術 - 宮崎剛 (JAMSTEC)
 - ④ 海洋資源大国日本への針路 山崎哲生 (大阪府立大学)
 - ⑤ ハイカル湖のメタンハイドレート層からのガス回収実験 西尾伸也 (清水建設)
- 海洋生物資源利用
 - ① 趣旨説明 廣海十朗 (日本大学)
 - ② 水産資源と低下と再生 Prof. Juan Carlos Castilla (Univ. of Catolica Chile)
 - ③ 魚をもっと獲れるか? 松田裕之 (横浜国立大学)
 - ④ 持続的な海洋生物資源の利用 - 日本型漁業資源管理の意義と展開 - 和田時夫 (水産総合研究センター)
 - ⑤ 相模湾のブリ定置網漁業の変遷 - 陸上生態系を含めた海洋生物資源の総合管理を目指して - 石戸谷博範 (神奈川県水産技術センター)

第2部：2011年3月1日(火)

時間：10:00～16:15 場所：駿河台校舎 CST ホール

- 海洋再生可能エネルギー
 - ① 趣旨説明 増田光一 (日本大学)
 - ② 欧州海洋エネルギーセンター (EMEC) での実海域試験 Prof. Ian G Bryden (Univ. of Edinburgh)
 - ③ 海洋エネルギー養殖と生産支援のための複合洋上プラットフォーム Prof. Atilla Incecik (Univ. of Strathclyde Glasgow)
 - ④ 日本の海洋エネルギー開発の動向の私見 木下健 (東京大学生産技術研究所)
 - ⑤ アジアにおける潮流・海流発電技術研究 経塚雄策 (九州大学)
 - ⑥ 海洋再生可能エネルギーのための人工筋肉の応用 千原正毅 (SRI International)
 - ⑦ 佐賀大学における波力発電研究の現状 永田修一 (佐賀大学)
 - ⑧ 日本大学における研究活動 居駒知樹 (日本大学)
 - ⑨ 浮体式洋上風車の開発 堀啓郎 (清水建設)

シンポジウム 会場案内

■ 日本大学理工学部 駿河台校舎



住所：〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14
交通：JR 中央・総武線「御茶ノ水」駅 下車徒歩 3分
東京メトロ千代田線「新御茶ノ水」駅 下車徒歩 3分
東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水」駅 下車徒歩 5分

■ 問い合わせ先：日本大学理工学部海洋建築工学科 (増田・居駒)
tel : 047-469-5482
e-mail : masuda.koichi@nihon-u.ac.jp / ikoma.tomoki@nihon-u.ac.jp

第2回海洋空間利用シンポジウム プログラム

2月28日(第1部)			
10:00		開会	
		あいさつ	
		シンポジウム趣旨説明	
		気候変動と島嶼国への影響	
10:20		趣旨説明と日大の取組み	小林昭男 日本大学(理工)
10:40		大洋州の現状	Prof. Joeli Veitayaki Univ. of South Pacific
11:10		小島嶼国の気候変動適応と開発パートナーの役割	三村悟 JICA
11:35		討論	
		昼食(各自)	
		大深度探査技術と海底資源	
13:00		趣旨説明	居駒知樹 日本大学
13:05		第3のフロンティア・海底下への挑戦 -NanTroSEIZE長期孔内観測システムの開発-	許 正憲 JAMSTEC
13:35		第3のフロンティア・海底下への挑戦 -「ちきゅう」のライザー掘削技術-	宮崎 剛 JAMSTEC
13:55		海洋資源大国日本への針路	山崎哲生 大阪府立大学
14:25		バイカル湖のメタンハイドレート層からのガス回収実験	西尾伸也 清水建設
		休憩	
14:45		海洋生物資源利用	
15:00		趣旨説明	廣海十朗 日本大学(生物資源)
15:10		Future directions in coastal fishery sustainability: Dedicated access privileges (DAP s) and co-management	Prof. Juan Carlos Castilla Univ. of Catolica de Chile
15:40		Can we get more fish? Degradation and recovery of fisheries resources.	松田裕之 横浜国立大学
16:05		持続的な海洋生物資源の利用-日本型漁業資源管理の意義と展開	和田時夫 水産総合研究センター
16:30		相模湾のブリ定置網漁業の変遷-陸上生態系を含めた海洋生物資源の総合管理を目指して	石戸谷博範 神奈川県水産技術センター 相模湾試験場
16:55		休憩	
17:05		パネルディスカッション	司会 杉本隆成 東海大学 および 廣海十朗 日本大学(生物資源)
		第1部閉会	
17:45		意見交換会(2F カフェテリアにて)	
18:00			
20:00			

3月1日(第2部)

10:00		第2部開会あいさつ		
		海洋再生可能エネルギー		
10:05		趣旨説明	増田光一	日本大学(理工)
10:10		Testing at the European Marine Energy Centre	Prof. Ian G Bryden	Univ. of Edinburgh
10:45		Integrated Offshore Platforms for Ocean Energy, Aquaculture and Logistic Support	Prof. Atilla Incecik	Univ. of Strathclyde Glasgow
11:20		日本の海洋エネルギー開発の動向の私見	木下健	東京大学生産技術研究所
11:50		アジアにおける潮流・海流発電技術研究	経塚雄策	九州大学
12:20		昼食(各自)		
13:30		Innovative Power Generators Using Dielectric Elastomer	千葉正毅	Chiba Research Institute
14:00		佐賀大学における波力発電研究の現状	永田修一	佐賀大
14:30		日本大学における水車および波力発電技術研究	居駒知樹	日本大学(理工)
15:00		浮体式洋上風車の開発	堀 哲郎	清水建設
15:30		総合討論	司会:増田光一	日本大学(理工)
16:15		閉会あいさつ		